


| 請 願 文 書 表 | |
|---------------|--|
| 受理年月日 及び番号 | 令和6年9月2日 第16号 |
| 件 名 | 文京区の政策に区民（子どもを含む）の意見を取り入れることに関する請願 |
| 請 願 者 |  藤 卷 杏 慈 |
| 紹 介 議 員 | 依 田 翼 板 倉 美千代 |
| 請 願 の 要 旨 | 次 頁 の と お り |
| 付 託 委 員 会 | 総 務 区 民 委 員 会 |

請願理由

文京区の「都市計画マスタープラン」では、まちづくりにおける「区民と区の協働」が謳われています。

文京区では、住民（子どもを含む）の意見を無視して、一部の人の利益を優先するかのような政策が、多くの区民が知らない間に強行されているように感じており、例えばアンケートのような、「区民の声を聴く」という体の取り組みが行われても、その目的が明確にされず、広報も不十分なために、回答者が極めて少なく、形だけになっているのが実態だと考えます。

これでは、「区民と区の協働」は達成されないでしょうし、公共の授業で習うような、理想的な民主主義政治とは程遠いのではないかと感じてしまいます。

区の施設の建て替え計画や、空き地の利用方法など、誰もが利益を享受する可能性のある事柄は必ず、一部の区民だけでなく、みんなの将来の為に、私達子どもを含む住民の意見がもっと反映されるような意見収集、計画、説明会などの、クリアなプロセスを踏んで、区民がもっと積極的に関わりつつ進められるべきだと思います。

また、現状として、区政に対する興味・関心度、そして理解度に区民の中で差があるようにも感じています。私自身、区のホームページに掲載されている資料や、ポスターセッションの際の展示資料を拝見させていただきましたが、興味をそそるようなものであったとは言いにくく、子どもにとっても、ややもすると大人にとっても分かりにくいものばかりだったという印象です。小中学生も立派な区民です。彼らにとっても、興味がわき、区政への理解を深められるような情報提供の仕方を、もっと考えていただきたいです。

請願事項

- 1 まちづくりに関して、特に、公園や図書館のような公共施設の整備については、「区民と区の協働」を達成するために、参加人数や属性を限定しない集会型の住民意見聴取会を開いたり、周辺住民・学童・生徒を対象に、誘導的でない、内容の偏りのないアンケートを取ったりする等の、子どもの意見も含めた民意をできるだけ反映することに努める住民参画のプロセスを経よう、区議会から区に求めてください。
- 2 アンケート等の回答結果は、町内掲示板や校内、スポーツ施設や図書館などにポスターを掲示するなどして、区民が簡単にアクセスすることのできる場所に、誤解なく伝わるような形で公開することも区議会から区に求めてください。
- 3 上の1、2に上げたような政策の意義、価値、有効性等を最大化するためにも、区民が日ごろから区内でどんなことが行われているのかや、区民がかかわるような政策はあるのか等、子どもを含む、すべての区民が区政に興味を持ちやすい環境づくりを進めるよう、区議会から区に求めてください。